

第9回ワンダフル会（盲導犬使用者研修会）

社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部 24 番地

助成事業の概要

盲導犬は貸与前の一定期間、視覚障がい者との共同訓練を行います。その際に習得した技術は、使用者の生活環境などで年月が経つにしたがって変化が生じてしまいます。そのため当協会では、1年に一度盲導犬使用者に対して「ワンダフル会」と称する集合研修会を実施し、少しずつ変化した技術を再度確認・調整しています。同時に盲導犬の健康チェックも行っています。

この度は5月30日（金）に大型バスを貸切り、盲導犬を伴ったバス移動時に必要な技術（乗降や盲導犬の管理方法等）の習得を兵庫県淡路島までの日帰り研修の中で実施しました。懇親会では夏場の盲導犬への対策など盲導犬歩行、管理についての情報交換が行われました。

また、普段一人で参加するのは難しい物づくり体験を「お香づくり」を通して体験しました。難しい部分は、ガイド（手引き）がお手伝いをしながら全員が完成させることができました。

事業の成果

例年、宿泊を伴った研修会として実施してきたワンダフル会ですが、今回は盲導犬使用者の負担軽減、また、遠方からも参加がしやすいよう日帰り研修として実施した。本研修は、何気ない普段の行動をチェックし、技術的にフォローアップしてもらうことが難しい盲導犬使用者にとって、歩行指導員・訓練士による直接指導や助言が得られる貴重な機会となっています。

この度の研修は、盲導犬使用者の大型バスを利用した旅行における盲導犬管理技術の習得が主要な目的であり、当日はバスの乗降、バス内での盲導犬待機の仕方、排泄のタイミングと場所など細かい点での確認ができました。また、観光地である会場の淡路島パルシェ香りの館や淡路サービスエリアでの研修は、一般の方々が盲導犬使用者と盲導犬を間近に感じてもらい、理解を深めて頂けるよい機会となったと感じています。

当日、三宮のバスターミナルにて集合。多くの方に使用される長距離バス乗り場での狭い通路の歩行・待合いから始まり、最寄りの交通機関で帰路につかれるまで指導員は手引きボランティアを含む参加者全体の様子を確認し、必要があれば的確な指導を伝えることができ、参加者全員が良い学びの場となりました。また、手引きとして参加したボランティアならびに職員にとっても今回の研修では、視覚障がい者の介助を通して旅行で必要な手引き技術、バス利用時の手引き技術等の体得が可能になりました。

盲導犬使用者からは「遠方の使用者との意見交換・近況報告など出来てよかった」「体力的にも無理なプログラムではなかったので、とても良かった」、また手引きボランティアの方々からは「新しい気づきがありました」「今後の手引きで注意されたことが参考になります」という声も聞かれました。

成果の広報、公表

助成金の受託報告に関しては、当協会ホーム

ページ（アドレスは下記参照）内において公表しております。また、当協会の広報紙『ワンダフル通信 第 71 号（2014 年 10 月号）』において「第 9 回 ワンダフル会」の記事を掲載する予定です。

HP アドレス

<http://www.moudouken.org/supporter.html>

■ 今後の展開

今回の反省点や参加者の声を反映して研修内容の充実が図れるよう、研修場所・内容・日程の調整など協議を重ねていきたいです。また、使用者が「盲導犬との歩行を安全に楽しみながら行える」ような内容（香りや音、触感を楽しめるようなもの）を検討し、また研修の受容先となった場所でその関係者や一般の方が盲導犬や視覚障がい者への理解者が深められるようなプログラムの充実も図っていく努力をしていきます。